

会議名称	北本市庁舎建設委員会
開会及び 閉会日時	平成21年2月27日（金） 午前9時30分～正午 午後1時～3時30分
開催場所	文化センター第1研修室 第3研修室
議長氏名	委員長 高岡 輝夫
出席 委員(者) 氏 名	1号委員 現王園孝昭、福島忠夫、工藤日出夫 2号委員 菅野潤一、勝豊、田島和生、原田信美 3号委員 高岡輝夫 4号委員 矢部龍治、黒葛原武昭 5号委員 山島則義、小尾富士雄
欠席 委員(者) 氏 名	2号委員 染谷日菜 3号委員 和田 博 4号委員 野地恵美子
説明者の 職 氏 名	北本市政策推進課：吉野一
事務局職 員職氏名	北本市総合政策部長：谷澤 暢 政策推進課長：吉野一 政策推進課主査：福島弘行
会議 次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1)庁舎基本計画（案）について (2)その他 4 閉 会

配布資料	<ol style="list-style-type: none"><li>1 北本市の将来人口推計について（庁舎建設基本計画修正）</li><li>2 財政収支試算表</li></ol> <p>事前配付（郵送）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 庁舎建設基本計画（案）に関する委員意見一覧（追加分）</li><li>2 北本市庁舎建設基本計画（案）パブリック・コメント意見一覧</li></ol>
------	--

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
	司会進行 事務局（北本市総合政策部長）谷澤 暢
司会	<p><b>1 開会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本会議は原則公開ということとなっております、本日は、1名の傍聴の方がいらっしゃいますので報告いたします。</li> </ul>
司会	<p><b>2 あいさつ</b></p>
委員長	—委員長あいさつ、省略—
司会	<p><b>3 議題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは本日の議題に移ります議題に入ります。議長は委員長にお願いします。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは、議題に入ります。まず初めに事務局より説明をお願いします。</li> </ul>
事務局（吉野） 議長	<p>—資料に基づき、説明の実施—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パブリック・コメントについてはこの後どのような手続きとなりますか。</li> </ul>
事務局（福島） 議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パブリック・コメントの結果につきましては、今後、市の考え方の整理を行い、ホームページ等により公表いたします。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは、前回に引き続き、議題（１）庁舎建設基本計画（案）について、委員の皆様より頂きましたご意見により、議事を進めさせていただきます。なお、委員の皆様には事前に目を通していただいておりますので、各章を通して意見をいただきたいと思っております。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1章につきましてご意見をお願いします。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工藤委員がここに書かれている意見について、根本に戻すか</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
現王園委員	<p>それに近い意見を言われておりますが、議会の中で、19年3月に議会承認で庁舎の建設を進めるということになっているのか、工藤さんのような意見が他の議員の中にもあるのかお聞かせいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この報告にもありましたとおり、前回の特別委員会でもOKを出しております。また、今回の特別委員会におきましても、庁舎を造ることと建設場所については、委員会で確認をし、本会議でも報告をして進めています。委員会自体も継続しております。先日、群馬県の邑楽町の視察を実施しました。ここは、コンパクトに造られていて、町長が建設基金の範囲内で建てるということをご公約として建設が進められました。議会としては、こういったことを参考としながら、北本としての必要な大きさ、建てる時期などを中間報告としてさせていただきます。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会の建設委員は何名おりますか。</li> </ul>
現王園委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11名で構成しております。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工藤委員の意見については、考え方の基礎はあっていると思います。今のこういう時代だから原点に戻るということはわかります。ただし、また、原点に戻ってしまうと議論が進まなくなってしまうと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本構想をいただいて、それをもとに作成された基本計画案について検討していくということを基本的な形として進めさせていただきます。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19年3月に答申を出して、庁舎の建設を進めていくとしていたが、社会情勢が急激に変わり、この情勢の中で進めていくのかという声も出ていますが、基本的に現状からして建てる必要があるということとして、時期的な問題を検討する必要があると思いますが、私としては、こういうときこそ公共</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>投資をするべきであると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのご意見につきましては、答申案を作成する際にもう一度御意見をいただきたいと思います。他にご意見はありますか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画案にこれまでの経緯が書かれていますが、経緯の中に平成20年に実施した説明会等の経緯も載せたほうがいいのではないのでしょうか。事務局の見解もお聞きしたいと思います。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の皆様のご意見が多ければ、勝委員よりありました経緯について取り入れて書き込むことも対応したいと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他にご意見ございますか。</li> </ul>
矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この委員会の進め方について、何を求めているのか。提案をして疑問符を持っていることについて、皆さんで検討することで終わっていて、それを文章化するというのではなくて、モチーフを作るという作業で終わっています。決め事を一つ一つ解決していく会ではないのだということを、最初に前提としてあればいいが、そうでないから行ったり来たりしてしまうのです。市の広報にも進めるという風に出ているので、設計者がプランを出すうえでのたたき台として検討すればすむ内容なのだと思います。我々が、すごいプロフェッショナルで基本計画に対しても細かいことが出来るのであればいいですが、内容を読ませていただくと市民レベルの内容であるので、ここでの結論はそれらへの意見をまとめることなのかなという感じがします。意見については、ザーッと説明していただいて気になる部分があれば説明をいただくという形でよいのではないのでしょうか。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本案に対していいか悪いか答申するための会議ですよね。面積だけで行けば8, 500㎡が妥当かどうか。検討した結</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>果7, 000㎡でもいいではないですかといったものを市のほうへ挙げるといふ役割ではないかと思っているのですが、どうなのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会できちんと積算根拠などがあって検討して、7, 000㎡がいいと出すのならいいと思いますが。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床面積に対しては、国土交通省と総務省などから職員数一人当たりどのくらいですと出ています。これをベースにして市は出していると思うのですが、ただ、その中で人口減だとか、合併だとかそういうことを加味して出されたものなのかということ、我々はこの中で検討できると思っているのです。そういう会ではないと意味がないと思います。パブリック・コメントでも市民の方が同じようなことを書いてきています。お金も25億円以内との意見もでていて、今回の委員からの意見と併せて、大体まとまるのではないかと考えています。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こういうものが挙がってくるのだから、市の方でも議会の方でも造ることが前提であって、それに対するご意見はいかかでしょうかとしてパブリック・コメントとかコミュニティで聞いた問題がここに挙がってきているのです。我々はこのことについて検討して、こうだからこうするのですよと進めていけばいいのだと思います。いろいろな意見があると思いますが、北本市役所の場合は建替えが必要だということが進められているのだから、一つ一つ意見を取りまとめていくことが必要であり、それを事務局に上げていくことが我々の任務であり立場であるのだと思います。例として、補修で済ませてはどうだという意見がありますが、補修で済ませればこのくらいのお金で済みますが、直しても10年しかもたずその後の建替えに更にお金がかかってしまいますから、どうしても建て替えたほうが良いということが説得できる委員会ではなくてはだめなのです。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリック・コメントでいただいたものは、情報として承知しておくことが適当であると思います。パブリック・コメントの内容について直に判断することは、われわれの使命ではないと思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>こういう意見があるということ参考として、出されたものであると思うので、委員会としても反映させていくことも必要であると思います。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の皆様にはいろいろなデータを全て提供しましてその上で判断いただきたいと思います。今回実施したパブリック・コメントにつきましても、とりまとめを行い委員の皆様にご報告したところでございます。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリック・コメントに関しましては今後委員会としての意見をまとめるうえでの、参考としていく情報の一つだと思います。</li> </ul>
山島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリック・コメントの回答をするのは市であります。このような意見があったということをお出しして、委員の皆様のご念頭におきながら、委員会での検討を進めていただくということだと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのように進めさせていただきたいと思います。第1章につきまして他にございますか、なければ第2章へ入りたいと思います。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備の方向性の検討ということで、行政の方から示されたものが庁舎建設基本計画の位置付けとして書いてありますが、庁舎建設の整備の方向性として、全面建替えが示されていて、合併とかそういうものをあまり考えないで、北本市の理想とする庁舎が示されているのだと思います。私としては、整備の方向性としてはそれひとつだけではなくこの委員会の中で検討したらどうでしょうということで、提案をさせていただ</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
原田委員	<p>きました。ひとつは諮問案、もうひとつは合併を踏まえたうえでの全面建替え案として10年から15年後になったときに、今行政から示されているものは宝の持ち腐れになるだろうとも思い、全面建替えするけども2棟案として考えて、ひとつの棟は合併しても庁舎として残す部分、もうひとつは合併後場合によれば撤去してもいいというような形を踏まえた中での案を整備の方向性の中で考えたらどうだろうという案。もうひとつは、既存庁舎の一部を残して、例えば第3庁舎、第4庁舎の一部を残して、いまある第1、第2庁舎は全部建替えるといったみつつくらの建替えの方向性をこの委員会で提案してみたらどうでしょうか。ということ意見をとして出させていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併ということは念頭にはおきますが、それを考慮するのは非常に難しいので外しましょうという意見がこの前出たと思いますが。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併ありきで考えたのでは進むものも進まなくなってしまう。合併もありうると思うが、合併があったときにも北本市の庁舎は残るわけです。北本市が中心になるかもわからないけど、そうでなかったとしても北本市の庁舎というのは必要なわけで、大きく造ろうが小さく造ろうが毅然たるものを造っておかなくてはいけない。いくつも残しておけば、その後問題が残るが、コンパクトであっても毅然たる物を作っておけば合併があっても不動のものとなると思います。ただ、場所というのは市が考えることであって、市民が将来もここで支社になってもかまわないというものを検討していけば、合併はひとつここに置いておいて、必要なものを検討していかないとまた戻ってしまうのではないかと思います。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併という問題があるからこそ、第2案、第3案についても検討していかななくてはならないということで意見を出したのですけども、造ること自体は、基金もありますし、基金オーバー部分についても起債をすることによって建設することは</li> </ul>



## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
原田委員	<p>できると思うのです。起債をしたとしても低利子の試算ということになるでしょうから、そんなに大きいものではないと思いますが、心配するのはそのことではなくて、年間2000万円なり、2500万円なりという維持管理費が経常経費として毎年現在の維持管理費に上乘せとなり出て行くわけです。そうすると年々の予算編成の中で、今でさえ既存建物のリニューアルであるとかそういうものには財源が回らない状態が続いているわけです。そういう中で、こういう大きいものを造ってなおかつ合併がないかもしれないという状況の中で、維持管理費が経常経費として支出されることになることは非常に大変だろうと予測できるのです。そういう思いも込めて、意見を出させていただいたわけです。その辺も踏まえて皆さんに意見をお聞きしたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併を考えないから大きいものを造るということではないのですから、どういうものを造るかというものを議論すればいいのです。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人的な考えとしては、北本市の市民の方には失礼かもしれないけど、もし、上尾から鴻巣までを含めて合併になったとしても、位置的には中心ですが、今の流れからすると北本市の市庁舎を使って、場所が中心だから本庁となるかということはないかと思います。そういう意味からすると、合併があったとしても支所となると思います。今回建設するにあたっては、将来支所になっても、例えば議場であるとか、そういう部分をオープンスペースとかうまく利用できるような造り方しておくべきではないかと思います。そこまで意見を広げてしまうと、議論は進まなくなってしまうので、10年から15年合併がないという前提と、場所がここへ建てる、建設費はほかの方も言っているように基金の範囲というベースでやっていかないと、いろんなものを出していく必要があるが、現実味がないのではないのでしょうか。</li> </ul>
現王園委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諮問の仕方が不明確で、我々が何を議論していいのかわから</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
事務局（吉野）	<p>ないということがある。例えば計画案の中に、整備の方向性の検討として、また検討が出てくる。何々の検討など他にもいろいろ出ている。そして、課題も出てくるので、こういったものが計画書として出てくるのはおかしいと思うし、行ったり来たりするのは仕方がないのではないかと思うのです。パブリック・コメントや委員の皆様の意見を見させていただいても一番心配されているのは、今後の北本の財政がどうなるかというところで、合併の議論なども同じである。市の方針が本当に30億円からの庁舎を造って、そしてこの計画が今後どうなっていくのですよというものが示されていない。だから皆さんが心配して、ほんとに造って大丈夫なのですかというような意見が出てきて、ならば、縮小したほうがいい、合併したほうがいいなどのいろんな意見が出てくるわけです。一番の根本は行政が方針を示さないから、こうなる原因があるのです。財政計画もきちんと検討して、皆さんに意見を求める以上はきちんと責任を持って、5年、10年後の将来計画を30億円を含めて出してもらわなければ議論は行ったり来たりしてしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎の建設については、基本構想において、場所や建設の方向をいただいたわけでございます。それに続きまして、上限部分といたしまして基本計画の案をお示ししているところです。かなり具体的に書いてしまったところもあり、このようなものができるのかなというところもあると思いますが、私どもといたしましては、たたき台ということで上限部分を作らせていただいて、市民の皆様の意見を聞く中でいくつか見えてきたものがございます。基金の範囲内で最小必要限度のものでというところでまとまり始めてきたところと感じております。お示しいたしました、基本計画の案について意見をいただき、修正すべきところは修正して進めてまいりたいと考えております。</li> </ul>
現王園委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の方向性に対して、ご意見をいただきたいとして出さなければ、行ったり来たりしてしまう。諮問の仕方や、図面にし</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>ても外郭道路や敷地の大きさなどしっかりしたものを出さなければ、道路がある、いらぬなどの議論となってしまう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな話となってしまいましたが、合併の話に戻らせていただいて、今委員の方からお話がありましたように、合併はあるかもしれないけど、あるとしてもどういう形になるかわからない。北本市に影響があるかもしれないし、ないかもしれない。近隣の例を見ますと、今までお話がありましたように、支所みたいな形で実質的に大部分残る。議会の部分がなくなったりすることがありますが、合併をあまりにも大きなものとして考えてしまいますと進まなくなるので、合併のことについては、まとめるときに念頭に置いていただくということにしまして、次へと進めさせていただきます。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでいいと思いますが、整備の方向性というところで、諮問案ひとつだけの検討をするのか、それとも、既存庁舎を一部残す案、あるいは、2棟案でいくとかを答申に向かったの議論をするということを整備の方向の検討という意味で捉えていただいて、議論をしたその結果、ひとつだけで行こうということであればそれでいいかと思います。</li> </ul>
矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この会議の進め方の感じを変えて、住宅を建てるものと同じように、どのくらいの予算のものを建てるのが適正かどうかというように、予算ありきで30数億がどうかのお話がありますが、では、この会ではどのくらいの金額が適正なのか、どのくらいの規模が適正なのか、そこから2棟案も出てくるだろうし、4層になるのか3層になるのかもあるし、何かここでドリームというか、こんなことがあったらいいなという話にしていったほうが、いろんな意見が出てきたという結果になるのではないか。ギャラリーがあったほうがいい、無いほうがいいのかというのは、それより外側の問題が解決されていなくて、合併の問題であるとか重要であるけど、まず、概略を決めて意見を出し合ったほうが楽しくていいのではないでしょうか。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こういう風に進めさせていただいたのは、皆さんの経験もばらばらでありますし、考え方も違うと思いますからとりあえず共通の認識を持っていただくということで、疑問や質問をあげていただいて共通認識の下でお話させていただくことがいいのかと思ってこのように進めさせていただきました。矢部委員さんの言うような、今ここでいくらのものができるといったようなことは難しいかなとは思いますが、新庁舎というものがどういう状況で、どう建て替える必要が出てきたのか、あるいは、それよりもこういう要素があるからあまり妥当ではないとかの意見がありますので、とりあえず、この委員会では共通認識を取らせていただいて、それから、25億円がどうであるかというようなこととさせていただきたいと思っておりますので、ひととおりはこの形で進めさせていただきます。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勝委員からのお話の中には、2棟案それから一部活用した形での計画というお話がありましたが、このことについていかがでしょうか。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は第4庁舎を残して、新庁舎を建てるということとして考えています。まだ、9年しか経っていないものをなくすというのは市の財産を放棄するということですし、それはできないと思います。将来、人口減になったときに第4庁舎が無くなってもすむようになったときに、壊して更地にして対応するというのでいいのではないかと思います。私は、1棟ではなくて、第4庁舎プラス新庁舎その案一本で考えています。</li> </ul>
山島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は、壁などつくらず広く造って、合併があっても対応できるようにしておいて、児童館であったり保健センターであったりとしたものを造りたいとしたときに、第4庁舎を残すということがありますが、少し使い勝手が悪いこともありますので流用がうんと利くようにするというのがよいと思っています。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今している議論は、建築のプロもいますが、一方では一般の市民の方もいらっしゃるわけですので、あまり具体的につめていってもイメージとして浮かばないものもあると思います。先ほど現王園委員が言ったように、ある程度大まかな議論はしておいて、今出てきた議論を踏まえて一度図面化をしてみても、何案かを作ってそのことを示して議論をしていけば実感としてわかると思います。何にもない中で、議論をすることの難しさを感じます。どうしたいって思いがあれば、ひとつに絞るのではなく、市の方で依頼をしているコンサルタントに、概略でもいいから示していただいて、それを踏まえて議論をしていかないとなかなか難しいのではないかと思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのことについては、今ここで議論されているベースがあります。床面積や階数などのベースとなるものがあつた上で、基本設計を作るほうに渡してあげないと、設計するほうも大変であると思います。基本の要因になるものを提供すれば、それに沿ってプランは出てくると思います。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私はこの会が、４階建てにしたほうがいいのか、金額がどのくらいになるとか、面積がどのくらいになるとか想定するのは非常に難しいと思います。だから、言葉でこういう施設であってほしい、そういうようなものを議論して、それを踏まえて今４階建てとかそういうことは、市の方が考えて示してもらわないと、建築に携わってない人たちには難しいと思うのです。ただ、大まかに北本市の財政状況がどうだとかということ言葉をまとめて、そして、一度図面化をしてフィードバックするという議論がいいような気がします。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>図面とすることは大事だと思います。確かに図面化しないと具体的なものの議論はできないと思います。ただそれは、基本図を描くには、職員の人数だとか各部署の面積がどのくらい必要だとかそういったものを示さないと適当に割り振るわけにもいかず、そういったものを基にして、４階になるとか</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
勝委員	<p>3階になるとか、全体の面積もこのくらいで収まるとか考えてほしいということで提供することによって、この面積では収まらないとかそういうのは、おのずと設計者のほうから出てきます。それは、市役所のほうでフィードバックして考えてみることになると思うのです、だから、何かベースを与えないといけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画には、黒葛原さんが言われるようなことは大体書いてあります、ですから、書いてあることについて、順を追って議論をしてやっていただければいいのではないかと思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画で書いてあるようなことを、設計者に提供するようであれば、私の意見としては、新庁舎の機能の中に市民ホールなど要らないと私は思っていますので、そういうものを出してあげれば設計者も、そういう風に考えるわけですから、それを削るのか増やすのか、そういうことの意味を言う場であると思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝委員からのお話を大きく分けると3点あったと思いますが、合併問題をとりあえず棚上げにするとすれば、2棟案というのは別案でいいのではないかと思います。そうしますと残るのは建替えと一部庁舎を残すという話があるとなります。今後の議論の中でもこの話は出てきますので、それらを含めて検討していくということで進めて行きたいと思いますがよろしいでしょうか。</li> </ul> <p>－はい、という声あり－</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、ここでいったん休憩とさせていただきます。</li> </ul> <p>－休憩－</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、再開いたします。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの議論から、庁舎を建設する、庁舎で使えるものは使うということは、皆さんの共通の認識とさせていただきます。 第2章の内容について他にご意見ありますか。</li> <li>・ この計画案には、具体的に4層であったりとでていますが、この形で行きますと4層で決定してしまったという印象が強いのではないかと思います。いろいろな機能、経緯というのを設計者に伝えれば、4層が適当なのか、3層が適当なのかというのも出てくると思いますし、規模や事業費なども出てくると思いましたので、限定させないということで計画案からは削除してみてもどうかとして意見を出させていただきました。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局で4層としたのは何か理由があるのですか。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この基本計画の策定の前には、基本構想で1万㎡で6層ということとされておりまして、その後、検討をしまして11,900㎡6階建て、この時点で、当初51億円の建設費を見込んでいたものを38億へ減らした経緯がございます。その後、市民説明会等いろいろ意見をいただき、6階建てはあまりにも華美に過ぎるということで、検討をして現在の4階建て、8,500㎡程度、31億5千万円というところで、たたき台を作らせていただきました。計画案において4階建てということがあまりにも印象に強いという意見が多いようであれば、検討して削除という対応もしたいと思えます。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢部委員の意見に賛成いたします。階数のイメージは書かないほうがよいかもしれません。この委員会で、3階がいいか4階がいいか議論するのは難しいと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確かに、この段階で階数を特に明記する必要はないと思います。答申の中で、階数については触れないという風にまとめられればと思います。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画案の中で、市民に開かれたわかりやすい庁舎ということがありますが、多目的ホールなどの議論をしたほうが良いと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この基本計画というのは、庁舎に対していろいろなイメージがあるかとは思いますが、隣接した敷地に文化センターを持っているという状況でもあります。今回の計画の中では、市民ホールは代わりもあるし、お金もないのだから造らなくていいのではないかとということで意見を出させていただきました。市役所として必要な会議室などは設けたほうが良いとしています。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今、文化センターに展示ホールがありますけど、申し込みが多く、抽選となってしまいます。前々からもう一箇所あったほうが良いという要望があったのは確かです。ですから、文化センターがあるから無視するというのではなく、できたらそういうものを入れることも考えていただきたい。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民ホールについて私も意見を出させていただいておりますが、原田委員の言われたようなことは認識しておりませんでしたので、そういう意味では庁舎の中に一定の広さの展示ギャラリーがあってもいいのではないかと思います。ただ、素案で提案されているような700㎡といったそこまで大きいものはいらぬのかなと思います。文化センターの補完的な機能として庁舎に設ければいいのかなと思います。</li> </ul>
矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民ホールがなかなか場所が取れないという現実があると聞きましたが、窓口というのは市役所の中でどのようになっているのですか。例えば、各地域にホールがありますが、窓口になって運営しているというものがあるのですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示ギャラリーは、文化センターのひとつの部屋ということで、6ヶ月ないし3ヶ月前から予約ができるものと認識して</li> </ul>



## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
矢部委員	<p>おります。一箇所でございますので、なかなかとりづらいということもありますが、大きな団体や大会は前もって調整するというところもあるものと聞いております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の作家などを、市民参加文化活動みたいなものとして、行うとしてもシステムができていないと絵に描いた餅となってしまいます。</li> </ul> <p>他にもそういうスペースが必要なかどうか、庁舎のことだけではなく、情報として知っていないとだめなのかなと思います。</p>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各公民館などでも展示などをしておりますが、市の全体で活動している大きなものと市の中心である文化センターで行いたいという要望が多いということもあります。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北本市は、いろいろなセンターなどがある割には、どこへ申し込んだらいいのかよくわからないなどの理由で使いこなせていないことがあると思います。なおかつ、市役所の中に市民ホールのようなものはやめたほうがいいと思います。市役所以外の施設も使えますよともう少しくまわれば違うのではないかと思います。少しでも面積を縮小するためには、こういうところを減らさないとならない。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これらについては、意見としてまとめることといたします。それでは、第3章へ移ります。ご意見いかがでしょうか。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口計画が書いてあり、今日も説明がありましたが、その資料の根拠とか信頼性などはどうなのでしょう。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北本市の将来人口推計につきましては、12月24日に公表された最新版としており、これは2035年までの予測をしております。これにつきましては、国立社会保障・人口問題研究所の最新のデータです。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計的に出しているものであり、市の個々の政策など踏まえていないものだと思います。</li> <li>・ これは、参考と捕らえていいのですね。北本市は子育てに力を入れるなどで増える場合などもあるということですよ。</li> <li>・ あまり詳しくはないですが、単純に言うと生まれる数と死ぬ数を基本にして、例えば私が30年後に96歳で生きる確立は、どのくらいかというゼロに近いと思うのです。そういう人口の動態を基礎にして、30年後どのくらいの生存率があって、生まれてくる人の推計があって、それとの比較で行くとこれからはまちがいなく死ぬ人が多くなるのですから、それを基礎とします。日本全体の人口の数は死ぬ数とうまれる数の差し引きでもって推計して、団塊の世代が多いのですから30年から35年後には、ほぼ一掃するのです。そこが、30年後に今の出生率で比較すると、どのくらいの人口となるのかともものもひとつあります。それともうひとつは、外国から移民するとか移住させるとか、少子化対策がうまくいってという誤差率をそこへかけていくと、日本全体のおおよその推測ができてくる、それが大きくずれてくることはまずありえないと思います。問題は、市町村が人口推計をしていくときには、そこに政策を持って人口を増やそうとするが、実際は増えないのです。そのための政策経費も何百億もかけて、仮に増えるような政策をするのか、予算の財政の中で子育て支援とかで増やしていくとかなどで、そのところの予測はいつも狂うのです。日本全国の総合振興計画の人口の合計をすると約2億人となるといわれているのです。ですから、この数値はそれほど大幅に狂うことはないと思います。</li> <li>・ そういうことでいくと先々10億円くらい少なくなっていくのだから、その範囲を計算をしていっておのずからまず間違いないだろうと、でも、団塊の世代が死んでしまったとしたら年金が助かるわけですよ。それは、冗談ですが、金銭的な考えはほぼここで落ち着いてくると考えてよいのですか。そういうことから、お金をかけないで無理をしないでいい庁</li> </ul>
田島委員	
工藤委員	
田島委員	

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>舎を造るにはどうしたらいいかと自然と向かうのだと思います。借金しても、これだけのものであれば、無理しないで成り立っていくのだということによいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政の一番の元は人口だと思いますし、そういうことはむずかしいですが、いろいろな計画のよりどころはこれを元に行っていると思うのです。人口推計の部分については、これが出ている数字だということで、取り扱うこととしたいと思います。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>諮問案の施設規模で意見がありますが、国交省の表に対して、前回の会議の際に比較表を作っていただきました。この比較表を見て感じたのは、諮問案では事務室が2,500㎡、現在が約2,000㎡となっております。これだけ増えますよとされているわけです。ただ、基本構想を見ますと執務スペースでは約350㎡くらい足りないとされているのです。そういうことでいきますと、150㎡くらい大きくなっているのではないかとの見方もあると思いますけど、これはプランの作り方で、高層階になればなるほど面積の比較をしていくのは難しくなりますので、4階建てになるとこういう差が出るということがひとついえるのだと思います。それから一番申し上げたいのが、多目的室と市民ホールがそれぞれ700㎡ずつとってありまして、現在は多目的室が0、そして市民ホールが214㎡なのです。それから比べると、諮問案ではかなり大きな面積をとっている。さっきの議論ともつながりますが、文化センターとのつながりを考慮して補完的なものとするのか、という意味で実際の中では見直す必要があると思いました。設備関係面積にしましても、諮問案では991㎡となっております。ところが、現在の庁舎は89㎡なのです。これがものすごく大きく違うのですが、庁舎を4階とか5階としますと、空調設備とか集中する冷温水を作る機械であるとか、そういう機械を置くのにもものすごく大きなスペースを必要とするのです。ということから、1,000㎡近いものになるのだということになっているのだと思うのです。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
	<p>このことについても、庁舎を検討するうえで、面積を少しでも減らすという意味で検討する必要があると思います。それから、交通部分について2,054㎡となっておりますが、現在の庁舎は1,348㎡です。これも増えておまして、増える要因としては、階数が増えるほど階段室と廊下とかそういう部分が増えることにより、これらの面積が増えることとなります。私は、面積を減らすためにあまり高層階にしないで、2階建てなりあるいは3階建てにしたほうが、より小さい面積になると思います。もうひとつは、議事堂ですが、計画では700㎡とされていますが、現在は219㎡なのです。これは、今の議事堂が必ずしもけしていいとは言えませんが、これもかなり増える。そういうことを相対的に見ていくと計画案が9,048㎡です。それに対して8,500㎡程度に今回の計画はしたいというのが諮問案です。8,500㎡というのはけして無理な数字ではないですけども、もう少し面積を減少させなければならないことを考えますと、今、申し上げました視点での再検討を行い、面積やお金を減らすことにつなげてほしいと思います。</p>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常に重要な内容です。ざっと言って、8,000㎡くらいでできないかとそう思います。全体の予算を詰めていくには、トータルの建物をどうしていくというのが重要な要素だと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規模に関しては、今回の検討課題の中でも非常に大きな要素であると思います。意見としては、大きくならないようにとの考えが前提になっていると思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は、7,100㎡プラス第4庁舎を残すということ、将来は人口が減ってきたら本体だけ残すという発想なのですが、金額からすると25億でいくとなるともっと減らさなくてはならない、第4庁舎も併せて、7,000㎡を下回るくらいでないと25億をオーバーするのではないかと思います。私の案というのは、まだ甘いと思いますので、面積を一</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
田島委員	<p>一つ一つ捕らえて現在使っているもので間に合うとなれば、あと500から600㎡はあつという間に減ると思います。これで運営ができるのであればしたほうが良いと思いますが、福祉課などは通路が狭すぎて通れないが直そうにも、そういうところは今の庁舎には無いということですから、通路など無駄な面積とは思えるけれども建物としては重要な部分ですから、そういうものを加味したときに、7,000㎡くらいでどうかなというところです。しかし、お金を25億円以内と考えるともう少し詰めないと思いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単純に考えて、外壁をしっかりと造って中をユニットみたいにしたときに、この数字がどの程度の内容のものとなるのか。㎡計算で持って行ってこれだけのお金がかかるのか、㎡はこのままでもこれだけのものができて中身の机とかを節約していけば、その値段でできるのか。その辺の検討のうえでの31億円という数字なのか知りたいところでもあります。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この31億5千万円というのは、基本計画案ができた時点での数字ですよね。ですから、今はそれからすると、建設会社も仕事もないわけですから、施工する時期としては、19年度時よりも安くはできるのではないかと思います。鉄骨なども単価が下がりましたのでやる時期としては、ここ1、2年はそんなに悪い時期ではないと思います。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎を今ちよくちよく利用させていただいておりますが、いざという時に逃げられるスペースがないところが多くて、面積で計算しなくてはならない部分はあるところがあると思うのです。その上で、現在はあらましの見積もりが出されているのだと思うのです。今の情勢にあわせたものにするのではないかと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申の中に具体的な数字を盛り込むことについて何かご意見ございますか。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私はこの集団の中で、適切な数字を出すのは難しいと思います。ただ、お金を出す場合、基金の範囲内で作るとか、基金をなるべく残す範囲で納めるとかそういったものがメインで出て、補足的にこういった議論があったとそういうことでもいいのかと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>私も、数字をこの委員会で出すのは難しいと思います。仮にスケジュールどおりに発注に行っても2年も先となるので、相場の変動もありきちんと出すのは難しいと思います。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここには、一人当たりの面積がかかれています、今の床面積はどのくらいあるのですか。</li> </ul>
事務局（福島）	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存スペースの比較ということで表を作成しております。現在の庁舎が全体として、17.5㎡、執務スペースとしては、一人当たり6.47㎡という算定が出ております。総務省算定基準で、一人当たり10.52㎡。国土交通省の基準で8.13㎡となっております。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>役職の人たちはいいかと思うのですが、一般の人たちがどうかと思うのです。役所に行ったりすると、狭いところもかなりありますし、座っている人の後ろの棚から書類を出すときに、必ず立つかどくかしないと書類が取れない。そうすると、事務をしている人は、立つ、横に動くという動作が何秒かかかるわけです。そこへ取りに来る人も何秒か無駄になるわけで、そういうことが、年間で何万分だとか何十時間だとかわからないけど、合計するとかなりの時間になるのかなと思うのです。庁内で使っている労働時間の何%かになると思いますが、それを無くすことによってかなりの改善になると思うのです。いまよりも、経費が安くなったとの言い方もできると思います。一番大事なのは、そこのところに気を使って建ててほしいと思うのです。そうすると、最低の面積なども出てくると思うのです。食事にしてもみんながめいめいのところで食べていてお茶を飲む、そこへ市民の方がくると何</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>だお茶を飲んでるじゃないかと言われてしまう。食堂もないのでしょうがなく、今回の計画では多目的室とあるがこれがそういう風に使えるかわからないけど、福利厚生の方はあったほうがいいのかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島委員のお話追加して、今、職場の中には身体障害者の方もいるのだという前提でやらないといけないのです。そうしますと、いすを引いて通れるようにということだけではなく、主要な部分は車椅子の方も通れるようなスペースがないと、本当は適切な規模であるといえないと思うのです。そういう意味から、各論から見るとなかなか数字を出すのは難しいのかなと思います。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ということからも、数字を出すのはあまりいいことではないと思います。造る時期としては、先ほども話がありましたようにいい時期なのだと思います。材料の値段なども下がってきているものもあります。金利も安いということもあります。ただ、運営していく資金の確保という面では自然の歳入も減ってくるので、大変厳しいかなとは思っています。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答申にあたりましては、具体的な数字は入れ込まないということをご確認事項とさせていただきます。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場については、私は基本的には、諮問案でいいのですが、8,500㎡という庁舎の面積を少なくするには、2階建て、一部3階建てくらいというのがいいと私は思っています。そうすると、駐車場の面積が少なくなるという弊害が出てくるのです。そのときに、第4庁舎のある東側の道路というのは、低くなっているんで、その下がっている分を平らにするとおそらく1.5mくらいの差が出るのだと思います。ですからあの辺に、自走式の駐車場を作って、東側の道路からはそのまま、駐車場からはスロープを使って入れるという駐車場を造ることによって、減になる部分に対応できると思います。2層式の駐車場というのは金額的には、おそらく</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
原田委員	<p>安いと思いますので参考としてお話をさせていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討に値する内容だと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場に関しては、現状はかなり窮屈だと思います。一般的に考えますと高齢者の方がいらっしゃいますし、運転のうまい方ばかりでもないので、できるだけ安全度の高い、ゆったりとしたものにしたほうが良いと思うのです。今の敷地が14,000㎡もあるのですからそれを有効に使って、上り下りなどないほうが、バリアフリー、ユニバーサルデザインの考えからは望ましいと思います。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ちょっと戻ってしまいますが、建物が、2層と4層の場合ほどのくらい金額が変わってくるのですか。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回対象となったのですが、PFIの方式であるとか、リース方式なども検討しておりますが、私としては在来方式でいいのではないかと考えているのですが、2階建てと4階建てでは基礎がぜんぜん違うのですが、ただ2階建てではスペースが広く取る必要があるので、駐車場スペースが少なくなる。それと、4階建てでコンパクトにすれば建築面積が減ってくるので、一概には比較できないかと思えます。また、構造によっても坪単価はぜんぜん変わってきますし、一部鉄骨を使うとかも考えられますので、そういったことから金額は変わってきます。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ条件で、2階と4階建てを造ったときはどのくらい変わりますか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私の印象としては、いろいろなプラスマイナスがありますけど、4階建て程度であればトータルとして同じくらいだと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは、ここでいったん休憩とさせていただきたいと思い</li> </ul>



## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
	ます。
	—休憩—
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは、再開いたします。駐車場の関係については、答申案にどのように盛り込んでいったらよろしいでしょうか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場に関しては、とりあえず私が言った意見は置いておいて、駐車場を設ける考え方として、庁舎に来る人だけではなくて、文化センターに来る人たちにも有効に使えるように、との事項は必要かなとは思いますが。もうひとつは、地球温暖化の中であるべく自転車できてほしいとか、一方では車社会ではなくって来ている。あるいは、情報化が進んでいく中で、庁舎に来なくても、自宅でパソコンを使って申請できるとかといった時代が予想もされるので、そういうことも踏まえてもいいかも知れません。一番大切なのは、文化センターとの連携を考えて十分に駐車場を確保できるようにとのことに、重きを置いていただけたらどうかとも思っています。</li> </ul>
現王園委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリーに対応した駐車場ということがかかれておりますが、このようにしていただきたいということが一点、駐車場だけではなく、広場としても何か行事があったときに駐車場だけではなくて、多目的に使えるような発想があってもいいかと思えます。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それらの細かな部分については、この後設計などのときに詰めていくということとして、よいのではないかと思います。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラスパーキングとは、どのようなものですか。</li> </ul>
事務局（福島）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場の一部分に、アスファルトではなく、植栽を配置できるようにして、駐車場と併せて緑地を確保できるようにするものです。若干割高になることもありますが、緑地面積の確保としては有効であると思えます。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>最近では、事例が増えています。ヒートアイランド対策として、アスファルトをはがして、土にするとか植栽をしていくとかの事例がショッピングモールなどでも増えておりまして、今の時代の流れとなっています。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場という観点があると思いますが、庁舎を建てる上では広いスペースが災害の際にも使えるような考え方も必要で、緊急のときの避難場所であるとか、文化センターでの催しなどにも使える市民のための駐車場、広場として捕らえればいいのではないのでしょうか。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段は駐車場として使い、災害の時にはテントを張れますよ、文化センターの催しの際には一緒に使えますよと、大きな面で考えますと駐車場というのは無駄ではないと思います。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災のときは、北本市の場合は、各小学校や公民館を利用しますし、今回の場合は北本中学校があるのです。防災の面で行けば防災テント等などは北中の校庭などが使えると思います。このごろは、解脱会の広場も利用しています。そういう意味では、庁舎の広場だけではなくていろいろなところを使っているのです、総合的にものを考えなくてはならないのですが、基本的には駐車場であってもいいのではと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場については、駐車場として文化センターと共用して、その他の時には工夫をしながらと思いますが、使い方の部分に関しましては、形にするのは難しいのかなと思いますので、こちらからは枠をはめないという形で進めさせていただくのがいいかと思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくまでも庁舎と文化センターと共用できる駐車場として考えるくらいでよいのではないのでしょうか。後は、建物の規模によって台数なども決まってくるのだと思いますので、今の時点ではまだ、提案されている内容でよいのではないかと思います。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
	います。
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 続きまして、第４章に移ります。ご意見いかがでしょうか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路整備の方針について、提案の中で、文化センターと庁舎との間の道路の通過交通をなくすとの意見があり非常にいいと思います。制約もあるようですけども、制約がうまく整理できるのであれば、そうすることもいいのではないかと思います。</li> </ul>
事務局（福島）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎の敷地を広げるにあたり、道路の買収によるものと庁舎の敷地を広げるという二つの目的により、土地を取得しております。法律の整理を行う必要がありますが、それぞれの目的を持って取得していることや、税金の控除額などの違いもありますので、なかなか対応は難しいと思われれます。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区画整理事業などでは、遊歩道などもありますが、そのような選択肢はいかがでしょうか。</li> </ul>
事務局（福島）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別用途地区指定の国との協議の中で、当初はこの部分をメインの道路とするということで協議を進めた経緯がございます。車を通さないことは難しいと思いますが、スピードを出させないような工夫ができればと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の場合だと、市民会館と大宮地方庁舎の間に道路がありますが、事実上車が入れない、通りにくいという風にいたところがございます。そういう方法が取ればいいのかと思います。事例を調べていただいてもよいかもかもしれません。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配置計画などにご意見はございますか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配置計画を決めるのは、行政が総合的に検討して決めるのがベターだと思います。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物があると、日照だとか、電波障害があるなどくらいまでは想像できるのですが、専門的な観点から見ていかがでしょうか。ビル風ということもありますので、住宅が近くにあるのでそれがおきるのはよくないと思うのですか、どの位の規模となるとビル風が発生するのでしょうか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4階程度であればそれほどないと思うのですが、一般的には、建物の北側に発生することが多くて、そういったことから、建物に北側にビル風が発生するようなものは避けるべきだと思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソニックシティを造ったときにビル風がすごくて、風洞実験をやっているのですが、4階くらいですとそこまでは見ないのではないかと思います。この辺に大きな建物がないからなんとも言えませんが20mくらいのものが建つと、ゼロではないと思います。 配置計画については、この案のC案にしたときに、庁舎として20mくらいの建物が建ったときに、南側の住宅に住んでいる方があまり離れていないと圧迫感があるのではないかと思います。設計者の方にそういったことをきちんと話しておかないとそういう問題が出てしまうと思います。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほどから、文化センターとの関係の話が出ていますが、そうするともう一案くらいできるのではないかと思います。文化センターと連携や、大きく広場をとるとか、既存の庁舎残すなどの話もありますので、そういったことを踏まえてもう一案つくるなどとしてもよいのではないかと思います。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この会としては、どの計画案に対してどれがいいとかを出すのですか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配置計画については、配置として検討すべき近隣への配慮であるとか、仮設建物とのからみとかそういうことを総合的に</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
事務局（福島）	<p>考えて最もよい配置とすることといったようなことをいえばよいのではないかと思います。この図のこの建物は、そういうものを踏まえた大きさなのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配置計画でお示ししているものは、4階建てで8,500㎡を想定したものをお出ししております。1階の面積がだいたい2,000㎡ちょっとのものとして配置計画の案を作成いたしました。吹き抜けがある、なしということは配慮しておりません。また、基本計画内でも近隣に対する圧迫感の軽減などといった項目についても検討しております。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういう表現だけにして、図面の何案がいいとかという形での答申はしないほうがいいと思います。</li> </ul>
矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝委員と同じ意見です。プロの設計者がランドスケープを含めて行う必要があると思います。C案を基にしてとしたときに、風の問題であるとか諸問題を解決したものであればいいのですが、これは架空論なのであるですから、マスタープランなどのたたき台ができた時点で、どういう理由でこういう形になったのかということが非常に重要なキーになるものだと思います。先に決めて設計者にこれでというのは、違うのかなと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置計画の件につきましては、文言で近隣への配慮について検討するようにとかといった文言でまとめたいと思います。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>建替えについては、庁舎を造る以外の費用をかけないような位置に造っていただきたい、今使っているものはそのまま使っていけるよう、開いているスペースに造っていただきたい。しかも、周りの環境を阻害しないように、地形にあった形のものとしてほしい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>電波障害や風などといったことに加えて、仮設などの庁舎以外の費用もかけないといった事項も答申の文言の中に入れ込</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
山島委員	<p>むという風な方向でよろしいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮設庁舎について、事務局案では仮設庁舎を敷地内で建てることとしておりますが、もう少し広く考えて、文化センターの会議室を市民の方には申し訳ないが、２年間ぐらい使わせていただくのはどうか、先ほど原田委員がおっしゃったように中央にあるので使いやすいということですが、地区の公民館に利用率の低い、福祉関係はもっていかないけど、いわゆる業者が来るようなところは、離れてもらうなどとして、仮設庁舎がまったくないというのはできないかもしれないけど、少なくすることはできるのではないのでしょうか。そういったことも含めて、検討していただければいいと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな工夫はあるかもしれませんが、先ほど、福島委員がいった仮設庁舎にお金をかけないというところですね。そのための詳しい検討については、事務局のほうへ任せるという形でいいのかなと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置計画に関しては、それらを踏まえた形でまとめたいと思います。続きまして第５章財源の項目についていかがでしょうか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には、基金の範囲内を目指すということでもいいかと思います。個人的には、基金を残すとしたいですがなかなか難しいかと思います。５億円くらいを残して、市街化区域の緑が減っているのを、それを早く買ってもらうなどの議論もあると思うのですが、その辺は議会とうまく議論をしてもらうということでもいいのではないのでしょうか。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリック・コメントの中にも出ていますが、規模を小さくして必要最低限の庁舎ということで、さらに、基金を残していただいて、それを新しい駅のほうへ回していただくことに賛成です。新庁舎を造らないということではなく、費用を圧縮するだけ圧縮して、なおかつ、費用を捻出できるの</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
原田委員	<p>であれば、それを駅のほうへ使うということがいいと思います。社会情勢を踏まえることもそうですし、絞り込めば新しい意見も出てくると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P F I は難しいと思いますが、リース方式についてはどう検討されていますか。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リース方式についても検討をしております。今のリースは比較的いいものができておりますので、検討させていただきました。例えば20億円のを造って、10年間リースということだと、2億ずつ払い続けていくという計算となります。現在は、かなり技術も向上しておりますので、比較的きれいな、しかも耐震性能を持ったものができるかと踏んでおります。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今金利が非常に低い時期ですから、リース方式も悪くはないと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リースというのは、民間の方に庁舎を造っていただいてそれを借り上げるということですね。所有権は移るのですか。</li> </ul>
事務局（福島）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画案の中でも検討させていただいております。最近のケースでいきますと、リース期間満了後は、市に所有権が移るものとするとして、工事費の分割払いをしているイメージでよいと聞いております。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 25億の基金があるのですから、庁舎を造るのであれば、基金の範囲内で造ったほうがいいと思います。リースであれば金利を払うわけですから、その分余分なお金が出るということになるのだと思います。それから、毎年度2億のお金が出ることとなると思うのですが、それは、一般財源から出て行くことになると思うので、いまでも苦しいのにそれはどうかなと思います。25億以内で造って、リース料も基金の範囲内から払うということができれば、選択肢としても</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>あると思います。基金があるのですから、その範囲内で造ったほうが、損得を考えるといいかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リースというのは、結局支払いを先延ばしにするだけです。利息なども考えますと基金の範囲内で作るほうがおそらく得策なのではないかと思います。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の改築必要に迫られているところが多い。かなり緊急度を要するところもある中で、併せて庁舎も建替える必要があるとなると、まず頭金を払って残りをリースして、そしてその残りを、優先度の高い物権の補修ができるのでないかと思うのです。リースの金利プラス手数料はそれほど高いものではないと思います。</li> </ul>
福島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リースの利率はどのくらいのなのですか。</li> </ul>
事務局（福島）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確認させていただきます。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金の問題なのですが、自己資金でいいものを安く造って、30年から50年もつ建物なのだから、その間にメンテナンスとかもしなくてはいけないのだから、その辺も考えないといけないと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒っぽい話ですが、庁舎は絶対無くてはならないものです。リースなどで後年度負担をずっとしょってしまうものは、本来向かない。公民館などで場合によっては、廃止する必要があるものであれば、選択肢としてあるかなと私は思います。地方債で国からお金を借りて造ったほうが、安全かなとは思いますが。</li> </ul>
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理解をいただくというところでは、基金の範囲内というのは非常に重要な条件だと思います。そこが基軸になると思います。25億円全部使って大丈夫なのかということはまた別の議論となりますが、25億円というお金は、財政運営上も使</li> </ul>



## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
福島委員	<p>いでのよい基金のひとつとなっていますからそれを全部庁舎に使ってしまって、これからの歳入のことを考えると果たして財政運営の中で大丈夫なのかなとも思います。借金も非常に難しい時代になっているのですから、基金の範囲内というのが議会も言いやすいと思います。ただ、全部使ってしまってどうでしょうかという、議員の一人としてはやっつけまえとは簡単に言えないです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう少し、リースのところを細かく説明を聞きたいと思いますが、役所の建物だから、減価償却しないし、税金の対策でリースだからしないということはまったくないと思うのです。メンテナンスが含まれていて、かつ、金利が安いということであれば、リースはそれほど悪いものではないのかなと思うのです。</li> <li>・ 25億の基金は、虎の子として使い出がいいから、短期間のうちに入れたり出したりして、困ったときには使っているようなんだけど、実際問題そっくり使ってしまってどうなのかというところをお聞きしたい。また、25億円という数字がありますが、それが庁舎を造る上で適正なのかなと、例えば2億5千万円ずつ毎年積み上げて、30億にしたほうが、よりいいのかなという考えもありますし、造るということを決めておいて、いまさらこういうことを言うのはどうかなと思います。ひとつの意見として、25億円という数字が妥当かというのがよくわからないので、執行部側としてはこの数字がある程度わかっていると思うが適当な数字というのはどのくらいなのでしょう。それから、景気が悪いといっても、去年の働きに対して収税するわけだから、そんなに落ち込まない、それでもひーひーいっている状態、これが来年の今頃になると余計厳しくなるだろうし、再来年になるとさらに厳しくなると思われ。しかも、経常支出比率が90の半ばになってきているし、来年は半ばを越えてしまうのかなと、そういう背景もあって、基金だから建てちゃっていいというものもどうなのかなと思います。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
事務局（谷澤）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確か平成16年に今回と同じような財政状況になったときに、庁舎建設基金の3億円を年度を越えた振り替え運用ということで、一般会計のほうで流用させていただいて毎年6千万ずつ5年間かけて、振り戻しをするという経理をしております。それから、もっと短期的には、財政調整基金というものがありますので、そちらを使って資金運用しているようですけど、その月の中で短期的に資金が不足している場合も振り替え運用という形で、基金に属する現金を歳計現金のほうに運用するという方法もございます。ある程度基金という形で資金が残っていると、日々の支払い資金と手当てというのが比較的スムーズにできるということがあると思います。これが底をついてしまいますと、金融機関の方から一時借入金として借り入れをして、日々の支払い資金に当てるとなりますので、庁舎建設基金に限らず、積み立て型の基金というのがある程度残っているほうが資金的にはいいかなと思います。</li> </ul> <p style="margin-left: 2em;">庁舎の建設に当たっていくら必要なのかというところは、以前毎年1億円ずつ積んでいった頃もあったようですが、福島委員さんが言ったように現在経常収支比率が92.5%という財政が硬直化している中で、なかなか基金への積み立てができていないという状況の中では、今の庁舎建設基金の中というのが限度なのかなと思います。</p>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その25億円があるからという発想になってしまう。それがなければ、市の中で赤字にならないような運用をしなければならないのです。あるからと言って有利だということではなく、庁舎を建てるためにある資金なのですから、それはないという前提で市の運営をやっていただきたいと思います。25億円が何億か減れば、利息も増えないのですから、別としてやってもらいと思います。そうしないと、いつまでたっても庁舎はできないと思います。今やる時期がいいのかももう少し先がいいのかわかりませんが、この前からさかんに言われているように、今やらないとなったとき、一時的に雨漏りなどの改修をしなければならない、そうなったときにどこから</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
福島委員	<p>お金を出すのですか、基金の中から出してしまうと、それこそ、それが減ってしまっていていつまでたっても庁舎を建てることなんてできなくなってしまいます。改修も８億とかの数字が出てますけども、もしそれを使って５年とか１０年持ったとしても、古いものは５０年近く経つわけですから、建物からすれば、限界が来ていると思います。そうすると、ここ５年から１０年の間には建てなければならないと思うのです。改修費にお金をつぎ込むことも、私は問題だと思っているのです。建てることを前提に物事を進めていただいて、基金に他のことで手をつけないでもらいたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう少しリースのことを調べてもらって、組み合わせるということもあるのかなと思います。虎の子にこだわることもないかもしれませんが、ないとなると銀行になってそれが返せるかどうかもわからないのです。先ほどあった駅も１億基金として積み立っているわけですけど、簡単に手をつけられないのはいいかなと思いますけど、財政がよくなるとは絶対思えないので、リースの利用も考えて、かつ、担保のために少し残しておいてもいいのかなと思います。</li> </ul> <p>議員としての立場だと、正すという立場もあるのですが、多少知ってしまうと不安でしょうがないのです。お金が出て行く、入ってくるというのはしっかり見ておかないといけないのかなと思います。溜め込んだ部分なのだから、大事に使わなくてははいけない。</p>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リースについての心配としては、１０年で払って払い終わった後は、維持管理を含めてやっていくようになると思うが、プレハブのリースだとしたら、耐久性の面では疑問があります。従来方式で造ろうとするのは耐用年数を６０年と見込んでいるのですよね、それが、リース方式でプレハブとなるとそれだけの期間を持たそうとするとある時期から維持管理費が大きくなるのかなと、私個人としては思っています。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめとしては、基金の範囲内の建設を目指すものの、財源</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
現王園委員	<p>の確保にあたっては、基金だけではなくリース方式や起債を使う方法があるので、多様な課題の解決も踏まえて総合的に考えると、そのようにまとめたらどうでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私も賛成です。結局、財政的なことは政策的なことなのだから、ここでいくら議論しても仕方がないのです。財政的な方式も含めて、お任せという形の答申を出したほうがいいと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基金の範囲内という縛りをかけて、後の部分は市のほうへお任せするという形かなということですね。基金の範囲内で計画の骨格を示して、借りられるのだから60億でいいですよというものではないということですね。</li> </ul>
矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最初に予算を聞いている状態でとなると、帳尻を合わせてしまうのです。最初に25億しかないというのではなくて、20億しかないといえ、それに施工屋のほうも収めるようにすると思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基金の範囲でというところを基本にまとめたいと思います。次に、第6章市民意見の反映についていかがでしょうか。併せて、第7章についても意見ををお願いします。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後の検討に向けてということで、市制40周年に向けて着工なり完成をとということについては、あまりこだわらなくていいのではないのでしょうか。こういう突発的な景気の後退とか、市民参加として考えていくと、どうしても行政で考えているより長くかかると思うのです。それを無理やり期間の中に収めようとするとか、せつかく市民参加をとしてやろうとしても、悪い方向に向かってしまうのではないのでしょうか。市制40周年という形ではなく、着々と建設に向けて準備をするということがいいのではないかと思います。</li> </ul>
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勝委員さんがおっしゃったのが基本なのだと思います。パブ</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
勝委員	<p>リック・コメントなども見させていただくと、そのような意見もありますし、できるだけきちんと説明するという時間を担保する意味で期間は適宜、適切な時期にというあたりでよろしいのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計をするときに、ひとつの案を出して基本設計をしてもらうのか、いくつかの案を出してしてもらうのかそういう選択肢があると思います。それは、設計料にも関連してくるので一概には言えないのですが、いろいろな方法がこれからも考えられるわけです。そういう意味では、当面この委員会と議会の委員会を踏まえて、納得行く形で逐次進めていくということでもいいのではないのでしょうか。考え方としては、こういう厳しい時代ですから、庁舎建設はやめて、景気が戻ってから行うという考えもあるかもしれませんが、その辺は我々が判断するところではないのでしょうかね。</li> </ul>
山島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>21年度の庁舎建設にかかわる予算の枠組みについて、事務局より説明させます。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>21年度予算につきましては、3月議会に上程しておりますけど、これまでの議論の中で急いで決めるべきではないという考えを持っております。従いまして、21年度予算につきましては、もう少し庁舎の建設自体を検討していただいてよろしいのかなと考えております。内容としてはプロポーザルに向けた設計等の支援として450万円ほどを当初予算の方へ計上させていただいたところでございます。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計の支援ということは、基本設計に入る前にもう一段階あるということですか。基本設計は21年度予算に入っているのですか。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のほうとしては、造るほうの立場としてお話をさせていただいておりますけども、重要なのは市民の合意ということでして、これまでも20回近くの説明を実施したところでござ</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>いますけども、皆様のご意見を聞いていますともう少しというところも感じて言うところでございます。従いまして、機運が盛り上がり、すぐ造れということであれば補正をいたしまして対応してまいりたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算要求の中には、基本設計は入っていないということですね。市の考え方というかスタンスがその予算に現れていると思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画案に書かれている21年度基本設計というのは、ずれるということですか。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機運が盛り上がれば、21年度に予算要求をしてまいりたいと思います。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦しいけど造るということで進めているということですね。一丸となって進めていくという姿勢が見えないと、委員会が何をやってたのだろうとなってしまいますので、造ったとしても、北本の財政が140億になってもこういう計算でいくから問題ないのですよ、売上げが悪いけど中身はいい行政をやっているのだよといった姿勢でやっていただかないと、また元に戻ってしまう。</li> </ul>
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会の特別委員会はどのように進んでいるのですか。</li> </ul>
現王園委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 19年3月に報告したときは、可及的速やかにということとしております。その後、保育所の併設を検討するというところで、本年度に特別委員会を設置いたしました。現時点での特別委員会での確認事項としては、本会議でも中間報告をしているものは、庁舎単独で行うこととする、建設場所は現在地とする、建て替えを前提とする、この3つを確認事項として中間報告がされております。質素で簡素な庁舎建設、地域経済の波及効果、着工時期、建設費用、庁舎建設基本構想の基本的な考え方など、細部についてはこれから検討していこう</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
議長	<p>ということとしており、前回は邑楽町の視察を実施しておりますので、それらいいところ、悪いところを参考としながら北本市としてどのような建物が適当であるのかということを進めていきたいとしています。それから、基本計画の案が議会としてはまだ説明がなされておらず、中身を把握していない議員もおりますので、10日に委員会を開き、中身の説明を受け意見交換しながら進めてまいりたいと思います。やるよということとは決まっておりますので、後退することはないとしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会として、時期の部分を入れるか入れないかそのことについてご意見ありますか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的に、市制40周年に固執してというのは、やめるべきだと思うのです。表現として大切なのは、地域経済の立ち直り、市民合意の意識醸成とかそういうところを踏まえて、行政自体が検討して決めてほしいということにするのがいいと思います。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の委員会の資料の中にもありますが、第2庁舎の耐用年数があと3年しかありません。3年経ったらどうなるかということとははっきり言えないですが、ある程度の根拠があるものと判断して、そういうのもひとつの目途として検討してもよいのではないのでしょうか。</li> </ul>
勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その辺も文言に入れられたらどうでしょうか。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期のことについて、皆さん何らかの文言を入れたほうがいいというのは共通の認識であると思います。ひとつは、40周年にこだわらない。もうひとつは、第2庁舎の耐用年数が近づいてきている。それから、時期にこだわらないという考え方もあると思います。耐用年数の関係としても、3年を目途にとすれば弾力的な考え方にもなるかと思えます。それくらいの考え方でまとめるということによろしいのでしょうか。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
田島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>先の話となりますが、建設するということになって、地元業者が請け負いできるものがない場合、北本市以外の業者も頼むわけですね。そういう場合、できるだけ地元業者も組むようにしてもらったほうがいいと思いますので、そのような考え方でやっていただきたい。そういう考えもあっていいのかと思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今のご意見に対して何か、ご意見ありますか。</li> </ul>
事務局（吉野）	<ul style="list-style-type: none"> <li>その考え方は、今までも出ておまして、当然その方向でやっていくべきものと思っています。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>このことについては、基本設計もまだできていない段階で、先の話でもありますので、今回の答申には乗せないということでもとめたいと思います。</li> <li>これで、計画案につきましては、一応すべてご意見をいただいたものと思います。それでは、ここでいったん休憩とさせていただきます。</li> </ul> <p style="text-align: center;">—休憩—</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、再開いたします。ここから先は、答申のまとめ方についてご意見をいただきたいと思います。いろいろな方法があるかとは思いますが、前回までの経過を考えまして、答申案を作ってみました。私案ですので、これに限らず委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。</li> </ul> <p style="text-align: center;">—答申案に基づき説明—</p>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設積立金の範囲内と書いてありますが、はっきりと25億円の範囲内と書いていいのではないのでしょうか。括弧書きでもよいかと思います。それから、リース方法についても検討をすることを入れてもみてはいかがでしょうか。また、</li> </ul>



## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
勝委員	<p>建設着工時期などについても、項目としてあげて、ある程度の目安になるものを書いたほうが良いと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私はこの資料を見させていただいて、今日一日議論した部分がかかなり、含まれていない気がします。基本的には、あらためて今日の議論を踏まえてもう一度作り直して、次回の会議の際、または事前に意見をいただく必要があると思います。例えば、答申案の中には、計画案を妥当と認めますとありますが、そここのところは、そういう議論ではなかったと思います。もし、あげるとすれば、庁舎建設議論および下記事項を踏まえた検討を行い、再度、その方向性について引き続き議論するというような形として、今日議論した既存庁舎の活用の方法とか、いろいろ出ているわけですから、それらを踏まえたものにしないと、これでは何のためにこの議論をしたのかということになってしまいます。それから、規模の検討についても、今日の議論では、規模の特定については財政状況を踏まえて、行政で検討してほしいという議論でまとまったように思います。事業費財源の検討でも、庁舎積立金の範囲内で建設を目指すとして、不足する場合などの部分は要らないと思います。市民の意見の反映も文言をわかりやすくする必要があります。今日の議論を踏まえて、もう一度行政のほうで素案を作って、もう一度会議を開くなり委員に送るなりしてほしいと思います。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私も、細かいところはともかく、前提になる基本計画案が妥当と認めますというところは、我々は縮小して予算の範囲の中で進めたほうが良いではないかとしているわけですから、そのことが大前提となっているのではないかと思います。それから、個別については、もう少し具体的に入れたほうが良いところもあると思います。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それから、これから先もこの委員会が関わらせていただきたいというところが、重要だなとは思っています。</li> </ul>
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおむね勝委員の意見に賛成です。</li> </ul>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
山島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備の方向性の検討で、新庁舎の建設費抑制のため現庁舎の部分使用を明示するとありますが、これだと、どこかは残すとなりまして、その意思が、この委員会で確認されたこととしていいのかとういところと、議会の特別委員会が、建替えとしておりますので、事務局としてのまとめ方を困ってしまうのではないかと思うのですが。</li> </ul>
黒葛原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>この委員会としては、表現としては建替えなのですが、第4庁舎をつぶすとまでは言っていないので、はっきり書くのであれば、この新庁舎建設費の抑制のため、第4庁舎を残すとかの表現とすればいいのではないかと思います。壊さなくていいものを壊すというのは市民感情からはどうかと思う。建替えという表現の中では、今あるものを全部壊しますといっているものではないと思います。</li> </ul>
山島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういうご意見でまとめれば結構ですが、少し幅を持たせてもらったほうがいいと思います。それでやれというのがこの委員会として決定されることになるのですが、部分使用についても十分検討することとされれば、議会とのすり合わせもできるかと思います。</li> </ul>
工藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのような幅を持たせておかないと、あとでやりとりをするときにややこしくなるから、今日の記録をとりながら、事務局のほうで、今の文章を基本としながら、勝委員の言われているようなことも踏まえて、多少幅を持たせながら、答申案にしてフィードバックしてくれればいいと思います。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民からいただいた意見も参考としましたというところも答申に付け加えてもよいかもしれません。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>冒頭のところに加えてもいいかもしれません。</li> </ul> <p>答申案につきましては、これらの意見を参考としながら、事務局で案を作り、なるべく早い段階で委員の皆様へ送りまして意見を</p>

## 会議記録（２）

発言者	発言内容・決定事項
	<p>考えていただきまして、最終的にもう一度皆様からご意見をいただき、まとめるということにさせていただき、答申としたいと</p>

## 会議記録（3）

発言者	発言内容・決定事項
事務局（吉野）	<p>思います。 これからの進め方やその他のことについて、他に何かございますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日いただいたご意見ですと、ほとんど総まとめというよう なご意見がございましたので、それらを取りまとめまして、 事務局のほうで答申案を作らせていただきます。それを、 各委員さんに送りますので、次回の委員会の際に答申案につ いて検討いただきまして、その後、委員長、市長等のスケジ ュールを組んで答申をしていただきたいと思いますと考えております。</li> </ul>
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回のときに答申をして、保育所の問題が出てきたのです が、ある日突然でてきて、なんら話がなかった。委員会の存 在が無視されている気がしましたので、少なくとも委員会に は諮るべきだと思いました。今回やったものがどれくらい生 かされるか疑問です。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我々は今後も関わっていけるのとの答申としたいと思っ ています。</li> <li>・ ご協力いただきありがとうございました。本日の議題はこれ で終了とさせていただきます。</li> </ul>
副委員長	<p>4 閉会 —副委員長、あいさつ—</p>
<p>議事の概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。 平成 2 / 年 2 月 13 日 議長 <span style="font-size: 1.2em; font-family: cursive;">高岡輝夫</span></p>	

北本市の将来人口推計について (p 8 - 9)

北本市庁舎建設基本計画(案)において、2030年までの人口の推移の推計(平成19年5月推計(県)及び日本の市区町村別将来推計人口(平成15年12月推計))を掲載しておりますが、最新データでは平成20年12月推計として2035年までの推計が掲載されたことから、修正のうえ対応いたします。

(2) 人口

①人口の推移

北本市の人口は1985年(昭和60年)からの10年間で12,400人程度増加し、約20%の増加傾向を見せた。

しかし、少子高齢化の進行により我が国の人口は減少傾向にあり、2035年には2005年における人口の84%程度となるとの推計がなされている。(表1.2.1参照)

北本市においては2010年(平成22年)から減少傾向に転ずると推測されており、人口減少率は、全国平均、県平均よりも若干上回ると予測されている。  
(2007年(平成19年)1月時点:70,649人)

表 1.2.1 国・県・市の人口の推移の推計(国立社会保障・人口問題研究所より) (単位:千人)

	2005年	比率(%)	2010年	比率(%)	2015年	比率(%)	2020年	比率(%)	2025年	比率(%)	2030年	比率(%)	2035年	比率(%)
国	127,768	100.0	127,176	99.5	125,430	98.2	122,735	96.1	119,270	93.3	115,224	90.2	110,679	87.0
埼玉県	7,054	100.0	7,082	100.4	7,035	99.7	6,923	98.1	6,752	95.7	6,527	92.5	6,258	88.4
北本市	70.1	100.0	70.0	99.9	69.1	98.6	67.5	96.3	65.3	93.2	62.4	89.0	59.1	84.4

※比率は2005年を100%とした場合の比率

図 1.2.1 国の人口の推移の推計

(単位:千人)

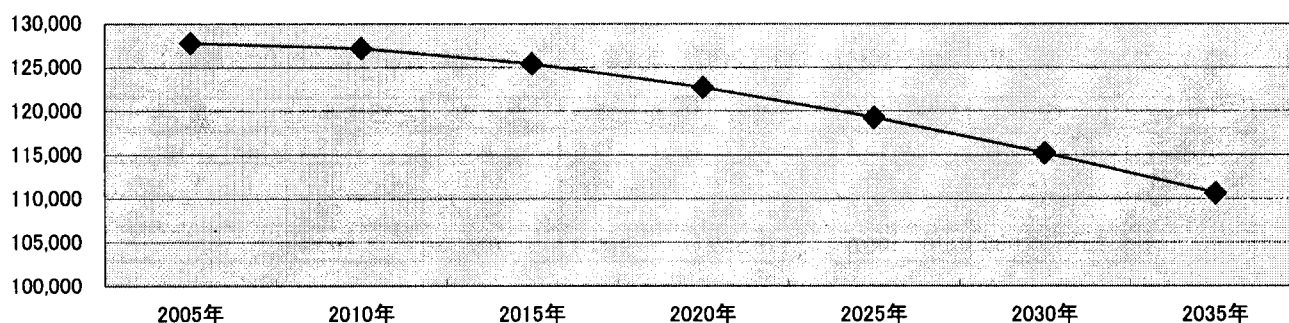


図 1.2.2 埼玉県の人口の推移の推計

(単位：千人)

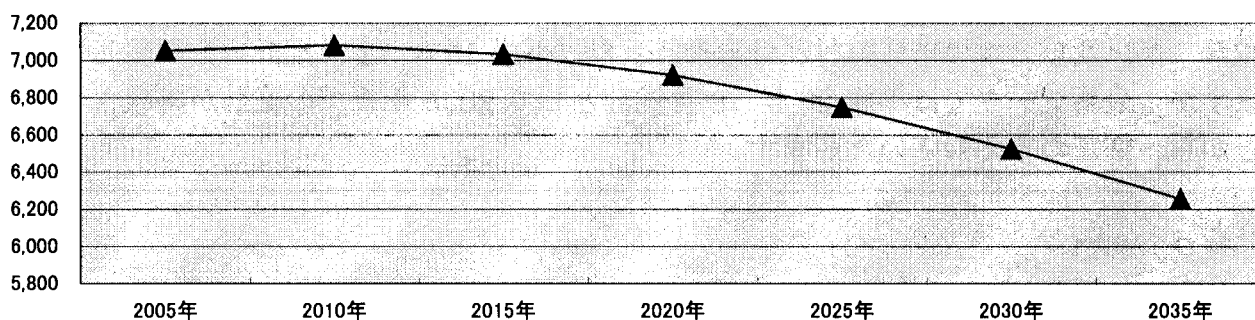
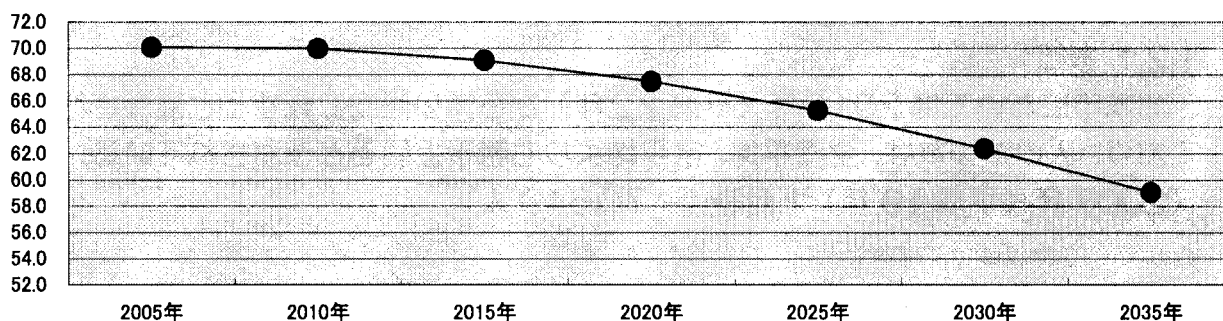


図 1.2.3 北本市の人口の推移の推計

(単位：千人)



## ②人口の構成

人口全体に占める15～64歳までの人口の比率は全国平均よりも若干高い値を示している。これは、緑豊かな居住環境にありながら首都圏等へのアクセスの容易さなどを反映し、1985年（昭和60年）程度から、子育て世代と言える若年層の新たな居住が比較的多かったためと推測される。

(表 1.2.2 参照)

表 1.2.2 国・県・市の年齢3区分別人口（2005年（平成17年）国勢調査報告より）（単位：人）

	国	左記比率(%)	埼玉県	左記比率(%)	北本市	左記比率(%)	備考
15歳未満	17,399,700	13.6	990,172	13.8	9,397	13.3	
15～64歳	83,372,800	65.3	4,902,202	68.3	48,302	68.2	
65歳以上	26,819,900	21.0	1,287,191	17.9	13,140	18.5	
計	127,756,000	100.0	7,179,565	100.0	70,839	100.0	

## 財政収支試算表

財政決算状況と今後の試算にあたっては、平成18年度、平成19年度は普通会計の決算額をベースとし、平成20年度は3月補正後の普通会計予算額で集計している。また、平成21年度は当初予算額による普通会計ベースでの集計を行っている。平成22年度以降の試算は、現行制度の継続を前提として、近年の財政状況を考慮し、さらには、各費目の伸び率などを参考に平成25年度までの収支を試算したものである。

## 年度別の財政決算状況と今後の試算

歳入 (単位:百万円)

区 分	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
	決算額	決算額	予算額	予算額	見込額	見込額	見込額	見込額
市税	8,624	9,391	9,291	8,919	8,732	8,707	8,421	8,346
地方交付税	1,415	1,103	1,127	1,253	1,190	1,131	1,086	1,031
地方債	1,316	1,003	1,262	1,650	1,721	1,625	1,623	1,562
内臨時財政対策債	689	625	586	909	744	641	586	574
内減税補てん債	89	-	-	-	-	-	-	-
国庫支出金	1,252	1,301	1,578	1,487	1,747	1,816	1,889	1,965
県支出金	611	788	752	821	854	948	923	960
基金繰入金	8	163	86	629	0	0	0	0
その他	3,276	2,584	2,711	1,903	1,915	1,886	1,864	1,894
歳入合計(A)	16,502	16,333	16,807	16,662	16,159	16,113	15,806	15,758

歳出 (単位:百万円)

区 分	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
	決算額	決算額	予算額	予算額	見込額	見込額	見込額	見込額
義務的経費	7,961	8,211	8,389	8,533	8,498	8,557	8,563	8,628
人件費	4,342	4,377	4,412	4,392	4,256	4,188	4,124	4,060
扶助費	2,073	2,223	2,388	2,498	2,598	2,702	2,810	2,922
公債費	1,546	1,611	1,589	1,643	1,644	1,667	1,629	1,646
投資的経費	1,455	1,214	1,800	1,493	1,900	1,900	1,900	1,800
他会計繰出金	1,420	1,592	1,247	1,379	1,433	1,493	1,497	1,563
国民健康保険会計	325	409	313	486	515	546	579	614
老人保健会計	302	328	0	2	-	-	-	-
介護保険会計	295	324	350	364	384	406	429	453
下水道会計	498	471	464	409	413	417	421	425
後期高齢医療会計	-	-	60	58	61	64	68	71
庁舎建設基金	-	60	60	60	60	60	-	-
その他	4,894	4,520	5,371	5,257	5,068	5,072	4,930	4,847
歳出合計(B)	15,730	15,537	16,807	16,662	16,899	17,022	16,890	16,838

収支の差 (A)-(B)	772	796	0	0	△ 740	△ 909	△ 1,084	△ 1,080
--------------	-----	-----	---	---	-------	-------	---------	---------

累積収支差額				0	△ 740	△ 1,649	△ 2,733	△ 3,813
--------	--	--	--	---	-------	---------	---------	---------

※特別会計の人件費は各繰出金から控除し、人件費に加算して集計している。

※人件費の推計にあたっては、定員適正化計画による職員の削減を見込んで集計している。

※平成19年度と平成20年度の人件費について、平成19年度の人件費は決算額であり、平成20年度は予算額であること。

※下水道会計への繰出金は、下水道会計での資本費平準化債の発行や平成21年度における使用料の見直しを考慮した場合の繰出金で試算している。

章 節 意見欄（章ごとに意見の提出をお願いします。）

	4		第4章 配置計画等の検討	補足説明	委員会意見
	4-1		4-1 土地利用計画の検討		
	4-2		4-2 配置計画の検討		
	4-3		4-3 平面計画の検討		
	4-4		4-4 仮設庁舎の検討		
黒葛原	4-1	2	4-1 土地利用計画の検討 可能であれば、市役所と文化センターの間の市道6362号線を廃止し、敷地を一体にする事により敷地の利用率も高くなるので皆さんと検討したい。	6362号線沿いの土地の取得にあたり、道路拡幅の目的と庁舎の敷地拡張の目的として、それぞれ別の法律により土地を取得した経緯があります。法律の整理を行う必要がありますが、目的を持って取得していることや、用地買収による補償の税控除などを適用していることもあり、対応は難しいと考えられます。	
黒葛原	4-1	2	4-2 配置計画の検討 基本的にはC案+第4庁舎を残す。C案は南側によっていますので南側の在住者の反対でどうしても無理で有れば、A案+第4庁舎を残す案です。 (SRC+4階建)		
黒葛原	4-1	1	4-4 仮設庁舎の検討 庁舎の案の決定次第で検討する。		
	5		第5章 事業費及び財源の検討		
	5-1		5-1 建設費用		
	5-2		5-2 財源		
	5-3		5-3 維持管理費等の検討		
黒葛原	5-1	2	5-1 建設費用（総事業費） 庁舎建設基金25億以内を目標。7100㎡×350000/㎡=約25億以内。 (条件第4庁舎は残す、第4庁舎900㎡+全体で500㎡縮小、将来人口減とか、合併とかで支所に成った場合には、第4庁舎を解体する)		



黒葛原	5-2	5-2財源 財源あくまで庁舎建設基金内で計画する。		
黒葛原	5-3	5-3維持管理費等の検討 維持管理費は現在よりも床面積が大きくなるわけですから、現在よりも費用増は仕方がない。しかし将来に向けては、自然採光、太陽光発電、トイレ等の節水型機器の設置等より節減を図る事。		
	6	第6章 市民意見の反映		
	6-1	6-1 複合施設の検討		
	6-2	6-2 事業費縮減の検討		
黒葛原	6-1	6-1 複合施設の検討 北本市は市庁舎のまわりにいろいろな施設が有る。ある施設をもっと有効に利用すればよい。新市庁舎は複合施設の検討は必要ない。		
黒葛原	6-2	6-2 事業費縮減の検討 (1) 建設規模の縮小 1、事業費縮減の第1はまだ十分使用できる第4庁舎は残す。		
黒葛原	6-2	2、室数をどう減らすかを検討する事。（基本図が出る前に検討必要、基本図が出ると、減らしにくい）		
黒葛原	6-2	3、現在使用している備品等は出来るだけ、使用する事。		

黒葛原	6-2	<p>(2) 事業手法の検討による縮減</p> <p>1、現在までにいろいろ検討されている内容を見る限り、PFI方式は事例も少ないし、この委員会で検討する必要はないと思う。リース方式もこの時代リース会社がリース期間中倒産等した場合等を考えると、市のシンボリック建物にはならない。</p> <p>2、1を考えると今回は従来方式に絞って検討で良くないか。</p>		
	7	第7章今後の検討に向けて		
	7-1	7-1 今後のスケジュール		
	7-2	7-2 今後の課題・検討事項		
黒葛原	7-1	<p>7-1 今後のスケジュール</p> <p>1、このスケジュールで行くので有れば、市民参画も含め、検討時間を多くし、ひとつずつ、疑問点を潰して行かないとまとまらない。</p> <p>2、委員会は成るべく全員が集まれる日にして欲しい。又成るべく全員意見を出して欲しい。その為には次回の日程は委員会終了時に、市より2、3案を出して貰い、それに合わせて全員集まれる日にして欲しい。</p>		
黒葛原	7-2	<p>7-2 今後の課題、検討事項</p> <p>1、基本設計は何時頃と考えているのか、スケジュールでは平成21年度となって、居りますが何月頃ですか、教えて欲しい。</p> <p>2、市民を含めたワークショップや懇談会等も何時頃か、教えて欲しい。</p>	<p>基本設計の発注時期は、事業手法の決定やプロポーザル(提案)方式の期間を踏まえて決定することとなります。基本設計に伴うワークショップなどの時期については、業者からの提案も含めて決定したいと考えております。</p>	

番号	「北本市庁舎建設基本計画(案)」についてのご意見
1	<p>1. <u>新築は凍結しリフォームと耐震化工事のみとすべきである。</u> 理由: 1. 未曾有の経済不況の下、新築は暫く凍結すべきである。 2. 千葉県浦安市では今後の税収の身通し不透明から24年完成予定の新市庁舎建設を市長が凍結を議会に提案した。 3. 神奈川県では1700億円の税収減から市長を始めとする職員の給与カットをする。 4. 北本市の今後の税収見通しも不透明であり新築での税の投入は将来に禍根を残す可能性が大である。この今後の税収の見通しが説明出来ない限り凍結すべきである。</p>
2	<p>庁舎建設基金の範囲内で建設が望ましい。</p>
3	<p>意見を求めるのではなく、<u>市民に対し賛否を問う投票方式を導入すべきものである。</u> なぜなら未曾有な最も悪化している経済状況の最中に数十億円もの莫大な公費を費やしているものなのか疑問に思う。 このような時勢で企業は新工場等の投資をせずに身を削る状態であることを自治体は自覚すること。 新公舎に投資するのであるならば、経済及び生活支援の緊急対策を早急にたてるべきものである。 このような情勢であるにもかかわらず、常軌を逸した計画案は甚だ非常識なものと思われます。</p>
4	<p>1. <u>建築規模は必要最小限度に抑えること</u> 2. <u>建築費用は基金積立金の範囲内に納めること</u> 3. <u>建築設計については、華美を避け実用本位を基本とすべきである</u> 4. <u>既存の第4庁舎は引き続き運用して行くこと</u> 5. 車椅子使用の市民が主に使用すると想定できる部門については、1階部分に配置すること 6. <u>建築費他工事費についての積算基準価格が相当高く見られているので、再度検討すること</u> 7. <u>児童施設を敢えて市役所内に設置する必要はなく、既存の他公共施設の転用で利用を図る方法があるはず。そのほうが、利用する市民にとってより近くの施設となることが想定できる。</u></p>

5	<p>支庁舎建設を前提とした計画案ではなく、<u>建設の是非を問うべき意見</u>をとりまとめることが先なのではないか。</p> <p>厳しい経済情勢のなかで深まる少子高齢現象において、歳入をどのように見込まれているのか、甚だ疑問である。</p> <p>建設計画ありきでは無く、建設の是非を問う住民投票若しくは選挙で市民の信任を得てから行うものである。</p> <p>現段階においても税負担が重く押し掛かっており、建設することで、さらに拍車がかかることは想像に難くない。</p> <p>この意見に対して市はどのように考えるのか、意見者にフィードバックをしてもらいたい。</p> <p>また意見を取りまとめ、個人情報に触れない範囲で情報公開を求める。</p> <p>市庁舎は市民みんなのものであり、独断は許されるものではない。</p>
6	<p>市庁舎建設については、<u>条件付で賛成</u>である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先日の埼玉県広報で、上尾～鴻巣までの広域市町村合併の構想がでていた。合併は望むところであり、そうなった場合、北本の市庁舎が無駄にならない程度の規模と予算執行をすべきである。</li> <li>2. 市民ホールを設置して展示スペース等を設ける。とあるが、現在の文化センターで十分である。既存設備も十分に活用せず無駄なスペースは不要である。</li> <li>3. 三役以外の部課長以下のスペースは取りすぎである。係員並みのスペースで十分である。(係員と机を机を並べて執務を)</li> <li>4. 建築はリース方式が望ましい(広域合併も踏まえて)長期間の維持管理を考えると安価になると考える。</li> <li>5. 建築積立金の使用は10億円前後に押さえ、残りは、圏央道にからむ新駅設置基金に充当し、北本市の総合的な発展に尽くすのがベターであると考えます。</li> </ol>
7	<p>市庁舎がその町で1番の高層で豪華、という例が県内(否、日本国中で)でも見受けられる。</p> <p>行政を滞りなく施行するに必要な最低限度の建築物で十分。所詮、庁舎は執務・市民サービスへのコストなのだから、<u>安価で済むようにすべきもの</u>。</p> <p>現計画案の撤回と再作成を強力に提言するものです。</p>
8	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1庁舎を昭和38年に建設し、第2・第3・第4庁舎、市の将来像を何等考慮せず<u>無闇に増築</u>をしてきたことがうかがい知れる。これは庁舎が市民サービスの窓口であることの本質を欠いたものであり、市民をないがしろにしてきた結果である。それを今、新庁舎建設の目的としていることについて、どのように思っているのか。</li> <li>2. 平成4年、バブル経済が崩壊した年に「市制施行30周年となる平成13年の新庁舎完成」とする題目で庁舎建設検討委員会が発足されたが、何故発足したのか。そもそもこの年に検討したことが間違いなのではないか。</li> <li>3. そこから新庁舎建設への呪縛にとらわれているのではないのか。「失われた10年」後の平成13年2月に「市制施行40周年となる平成23年度に完成予定」とし本計画案が策定され実施されようとしている。市民は<u>市制施行何周年ではなく、暮らし易い</u>かが重要であることことに気付いてもらいたい。</li> </ol>

<p>9</p>	<p>平成19年3月、庁舎建設基本構想として答申され「市議会の庁舎建設特別委員会においても、新庁舎については可及的速やかに建設することとする委員長報告があった」と計画案に記されているが「いざなみ景気」に煽られた発言と見るのが妥当ではないか。</p> <p>計画案での経緯のなかで「バブル経済の崩壊を受けた長引く景気低迷や地価の下落などから市税収入が減少、財政状況が悪化する中で、土地区画整理事業の推進や既存の学校、保育所、公民館等の改修、圏央道の整備や新駅問題なども重なり、新庁舎建設に向けた方向が変化した。」「本市を取り巻く合併問題が議論されていること、財政状況が厳しさを増す中での庁舎改修工事に着手することについて、再度慎重に検討が必要との判断から庁舎改修工事を凍結することとなった。」とされている。</p> <p>平成20年9月以降「100年に1度」の世界金融危機・経済恐慌に陥っており、バブル経済の崩壊以上の状態にある財政状況の悪化であり、超少子超高齢化状況のなかで将来の財源予測も立たない事態であることから「凍結」ではなく「撤回」とすべきことではないのか。</p> <p>住民投票若しくは市長自ら信任を得るべく選挙を行うべきではないのか。</p>
<p>10</p>	<p>桶川市等との合併を念頭に置いて計画すべきである。</p> <p>基金の積み立てに寄与した現世代と、実際に庁舎を利用する将来世代との負担の均衡という観点から、できるだけ市債を充当すべきである。貴重な現金は非適債事業に使うべきである。</p> <p>庁舎の一部は、コンビニやレストランなど、市民が利用でき、かつ収益が期待できる施設とし、市民の便益や維持管理経費の軽減を図るべきである。</p>
<p>11</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計について 北本市の将来人口推計について、市は如何に評価するか。</li> <li>2. 建物診断結果(2000年) 標記について、市は如何に評価するのか。</li> <li>3. 防災拠点             <ol style="list-style-type: none"> <li>a) 防災拠点機能とは、実体的に何をするとところか</li> <li>b) 地域の防災拠点はどのようにするのか</li> </ol> </li> <li>4. 建物のライフサイクル             <ol style="list-style-type: none"> <li>c) 発注者責任として、設計品質→施工品質→メンテナンス品質が緊要</li> <li>d) メンテナンスは、いかなる体制で、どの程度実行したのか</li> <li>e) 次の新築のためにも、再発防止策と是正措置の実証がない限り、また、同様なことが起きるリスクがある。</li> </ol> </li> <li>5. 人口減、財政収支、世情、市民感情を考慮し、景気と財政収支が回復し、シビルミニマムのサービス検証と評価の結果が一定の水準に達するまで、新築の検討を凍結すべきであると考えている。</li> </ol>